

センター

令和3年度

# 事業報告書

(和歌山県国際交流センター管理運営事業)

公益財団法人和歌山県国際交流協会

## 令和3年度の取組概要

和歌山県国際交流センターは、社会の国際化に即した地域の発展を促進し、県民が国際交流及び国際協力に関する活動を行う拠点とするために平成10年12月に設置された。

平成18年からは、「指定管理者制度」により、当センターの効果的・効率的な管理運営を行っており、令和3年度は第IV期指定管理期間の最終年度となった。

今年度は新型コロナウイルスの感染が全国的に拡がる中、まん延防止措置法の発令など昨年度に引き続き、当センターの運営にも大きな制限が加えられることとなった。そのような中ではあったが、県民の国際化に関する関心や、在住外国人のニーズなどがますます多様化する時代の変化に迅速に対応し、地域住民や外国人住民により親しまれる施設として活用してもらうため、新型コロナウイルスの感染対策を徹底するとともに、オンライン等も積極的に活用しながら下記の各種事業を実施した。

### a. センターの維持管理に関する業務

令和3年度の当センターの年間利用者数は、12,920名と令和2年度に比べ、約22%の減少となった。その原因として、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、施設使用を一時的に停止したり、利用者人数を制限したり、またほとんどのイベントをオンラインで開催したことによるものと考えられる。

### b. 国際交流等に関する活動を実施・支援する業務

国際交流センターボランティア登録者は110名であり、ボランティアとしての意識をさらに高め、活動をより実りのあるものにしてもらうため、分野別の研修会を行った。さらにYouTube専用の和歌山県国際交流センターチャンネルを開設し、動画を配信した。従来から行っているグローバルセミナー、インターナショナル・カフェ、外国語講座などは、開催方法を工夫しながら実施した。

### c. 国際交流等に関する情報の収集・発信に関する業務

情報収集提供事業として、他の図書館との差別化を図るため国際関係の蔵書をさらに充実させた。図書貸出サービス、ホームページにベトナム語を追加し、運営のためのセキュリティ更新などを行った。

### d. 在住外国人等に対する支援業務

相談窓口の運営では、英語、中国語、フィリピン語、ベトナム語、日本語の5カ国語で相談に対応し、日本語学習支援などを行った。

### e. 在住外国人等に対する防災対策及び危機管理支援業務

近畿地域国際化協会連絡協議会の研究会や研修に積極的に参加し、災害時多言語支援センターの運営訓練を行った。

### f. 海外移住者及び海外県人会に対する支援及び交流事業の実施業務

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、本年度も海外移住者子弟（北米の南加や中南米の和歌山県人会子弟）の受入事業を中止せざるを得なかったが、引き続きブラジル和歌山県人会などと情報交換したり、オンラインでの交流を実施したりして相互理解と親睦を深めた。

### g. 指定管理者自主事業

今年度の人権セミナーでは、日本赤十字社の医師を講師として招き、「誰も取り残さない 世界の人権～難民支援活動の現場から」をテーマに開催した。

## a. センターの維持管理に関する業務

### ○ センター保守管理事業

和歌山県国際交流センターの利用者に様々なサービスを提供するとともに、スタッフ・来館者同士のスムーズなコミュニケーションが図れるような環境づくりに努めた。

#### （1）令和3年度センター利用者数（月別表）

月	来館者総数	※うちサークル室利用者数
4月	1,088	115
5月	761	26
6月	988	213
7月	1,405	255
8月	909	183
9月	894	165
10月	1,326	313
11月	1,300	342
12月	1,904	353
1月	972	173
2月	535	25
3月	838	226
合計	12,920	2,389

※サークル室利用者数は  
来館者総数に含む

（参考：昨年度の来館者総数 16,651 名、うちサークル室利用者数 3,338 名）

#### （2）資料閲覧室

利用者が世代別や用途別に快適に利用できるよう、レイアウトを整理し変更した。

資料閲覧室利用に関するデータ等は、「c. 国際交流等に関する情報の収集・発信に関する業務 ○情報収集提供事業」に記載。

#### （3）交流ラウンジ

交流ラウンジでは古くなった雑貨や備品を見直し、整理を行った。コロナ渦の中でも、清潔で安心して利用していただける環境づくりに努めた。また、引き続き、無料ドリンク（子ども向けのジュースも含め4種類）の提供、Wi-Fiを整備し、広く交流ラウンジを団体等に開放した。キッズコーナーは、古く劣化した備品を見直し、おもちゃを消毒する等清潔に維持し、ぬりえや民族衣装の試着等お子様が楽しめる機能を追加した。季節に応じた絵本の入れ替えやデコレーションを行い、親子で安心して施設を利用していただけるように整備した。

#### （4）ボランティア・団体用サロン

和歌山県内の国際交流団体が定期的なミーティングに利用できるスペースを整備した（各団体が利用できるように12個のロッカーを設置し、現在すべてのロッカーが利用されている）。コピー機などを整備し、当センターボランティアや団体への活動をサポートした。

#### （5）情報ボード

個人や団体が自己管理のもと、自らの情報を自由に提供できる場所として情報ボードを設置し、「国際交流イベント」、「語学学習のお知らせ」などの情報交換に活用してもらった。また、和歌山県外の外国人支援団体からの情報なども掲示し、在住外国人向けの生活に関する情報を適宜提供した。

#### （6）清掃

国際交流センターを快適に利用してもらうために、毎日の当番制による職員のチェックと簡単な掃除、そして毎週月曜日、木曜日にスタッフ全員で清掃活動を行った。年に2回、センター交流ラウンジ・サークル室・小会議室・倉庫・事務所の大幅掃除や部分的な床剥離清掃を行い、清潔な環境維持に努めた。

#### （7）コロナ対策

利用者が安心して利用できるよう、感染対策の実施と呼びかけを徹底した。施設の利用団体とはコロナの感染状況が変化する度にコミュニケーションを取り、状況に応じた利用方法等と呼びかけた。

- ・ 予約時や利用時の感染症対策注意喚起・マスク着用での利用・入館時の手指の消毒・部屋の換気
- ・ 席間の距離を指定・飛沫防止パネルの設置・高性能空気清浄機・非接触型検温消毒器の設置
- ・ 来館者カード、体調チェックシートを活用し、体調や検温結果の自己申告をお願いした。

また、多言語表記のコロナ対策ポスターを作成し、外国人の方々を含めたすべての利用者へ感染症対策と呼びかけた。



民族衣装の試着やぬりえができるコーナーと、清潔な備品の設置等、リニューアルされたキッズコーナー

## b. 国際交流等に関する活動を実施・支援する業務

### ○ 国際交流センターボランティア登録事業

和歌山県の国際交流活動への関心が高く、ボランティア活動を積極的に行う意志のある方を募集し、登録後は、活動をより実りのあるものにしてもらうため、分野別の研修会を行った。また、活動に対する思いや目標を高めてもらう機会とするため、全ボランティアを対象とする研修会を実施した。

ボランティア登録者数 110名

内訳：（複数登録者あり）

通訳・翻訳	47名	日本語	32名	ホームステイ及びホームビジット	35名
文化紹介（日本文化・外国文化）	30名	情報収集提供	12名		

### ◇ ボランティア研修会

コロナ禍において対面での地域活動が少なくなり、オンラインを活用することはますます重要になっている。オンラインでの外国人支援を長年にわたり続けてきた CINGA の活動紹介を聞き、地域の市民活動として一人一人ができる外国人支援について考える機会となった。

- (1) 日 時 令和4年2月19日（土） 13:30～15:00
- (2) 実施方法 Zoom によるオンライン開催
- (3) 講 師 特定非営利活動法人国際活動市民中心（CINGA）コーディネーター 新居みどり
- (4) テ ー マ コロナ禍における外国人支援と多文化共生  
～CINGA の活動紹介から考えるボランティア活動の意義～
- (5) 対 象 者 登録済のボランティア、新規登録希望者
- (6) 参 加 者 15名

### ○ 「通訳ボランティア技術向上講座」事業

通訳者であり、通訳養成学校等での指導経験も豊富であり、ボランティア活動経験もある講師を招き、通訳ボランティア活動に必要な通訳技術の向上を図るとともに、交流活動における通訳で大切なマインドや、参加者が通訳に臨む際のアドバイスをいただいた。研修会は終始リラックスした雰囲気の中、日頃の英語学習により積極的に取り組むきっかけとなった。

- (1) 日 時 令和4年1月8日（土） 13:30～15:30
- (2) 実施方法 Zoom によるオンライン開催
- (3) 講 師 大西 比佐代（ボランティアガイド団体「奈良 SGG クラブ」会長）
- (4) 対 象 者 和歌山県国際交流センター通訳ボランティア登録者
- (5) 参 加 者 10名

## ○ NPO協働事業

国際交流や異文化・多文化理解を促進している非営利の団体と協働することで、県内の国際交流や異文化・多文化理解の更なる活性化を図り県民の多文化共生への意識を高めるために実施した。

◇グローバルセミナー・インターナショナルカフェ「ニューヨークのクリスマス」

共催：県内 NPO 団体 （諸事情のため非公開）

〔(再掲) p.8 参照〕

◇「ドイツの Xmas 音楽会」

共催：ドイツ語文化交流会 [(再掲) p.8 参照]

◇「わかやま移民の勉強会 第4回」

共催：和歌山大学 東研究室 [(再掲) p.7 参照]

◇世界のぬりえ

コロナ禍でも実現可能な事業として、年間を通して4枚の国際交流センターオリジナルぬりえ「世界のぬりえ」を制作した。「わかやまのぬりえ」で実績を持ち、県内で活躍する父親サークル「パパチカ」と協働制作をし、下記テーマの4種類のぬりえを作成した（当センターで働く外国人生活相談員の出身国である中国、フィリピン、ベトナムと、日本を併せた4か国の多様な文化が、ぬりえの中に描かれている内容となっている）。これらのぬりえは今後もセンター内キッズコーナーに置いて、来館者に気軽に楽しんでいただくこととした。

(1) テーマ

第1弾「伝統的な民族衣装」 第2弾「長年愛されるスイーツ」

第3弾「昔ながらのあそび」 第4弾「ありがとうのことば」

(2) ぬりえを活用したイベント

「世界のぬりえコンテスト」の実施

小学生までを対象とし、期間内で作品の応募を受け付けた。

募集期間：令和4年2月1日（火）から2月28日（月）

応募作品：387作品

最優秀賞：1作品

1～4弾までの各優秀賞：4作品

その他受賞者：特別賞32作品



最優秀賞 受賞作品



「伝統的な民族衣装」



「長年愛されるスイーツ」



「昔ながらのあそび」



「ありがとうのことば」

優秀賞 受賞作品4点



◇紀州っ子アドベンチャーフェスタ2021

世界にはいろいろな国があります。WIXAS パスポートを作ってアジアの6か国（フィリピン、ベトナム、ミャンマー、ネパール、インドネシア、中国）を訪問し、海外の生活や文化を疑似体験してもらった。

- (1) 日 時 令和3年12月4日（土） 10:00～16:00
- (2) 場 所 国際交流センター 交流ラウンジ他
- (3) 主 催 紀州っ子アドベンチャーフェスタ実行委員会
- (4) 対 象 者 未就学児から小学生（未就学児以下は保護者同伴）
- (5) 参 加 費 無料
- (6) 内 容 WIXAS パスポートを作って、アジアツアーを実施。  
各グループ参加者3名が一组になり、6つの国の衣食住の文化を写真やワークショップを通して疑似体験した。また、それぞれの国の言語も教えてもらった。

◇「多文化共生を本気で理解する研修～今こそ、異文化経験を和歌山に生かすとき～」

主催：和歌山青年海外協力協会

共催：和歌山県国際交流センター、（公財）和歌山県国際交流協会

後援：（公社）青年海外協力協会・わかやま JICA ボランティア応援団

（※詳細は、令和3年度和歌山県国際交流協会(自主事業)事業報告書 P.9 参照）

○「移民展・国際理解写真展」事業

◇「大洋州の立体パネルと写真展&トーク」

- (1) 日 時 令和3年10月23日（土） 10:00～16:00
- (2) 場 所 国際交流センター 交流ラウンジ
- (3) 講 師 原 奈央（サモア 小学校教師）〔国際協力推進員〕  
田村美希（フィジー コミュニティ開発）〔帰国隊員 和歌山市在住〕  
坂本友実（トンガ 美術） 〔帰国隊員 紀美野町在住〕
- (4) 参 加 者 16名
- (5) 参 加 費 無料
- (6) 内 容 サモア、フィジー、トンガの生活文化について、青年海外協力隊経験者の写真を通して知ってもらった。そして各国の場所や文化の写真の一部立体的に表現し、大洋州のことについて理解してもらった。  
また、3か国の文化を比較しながらのトークを楽しんでももらった。



## ○ グローバルセミナー事業

在住外国人や外国での生活経験のある方、様々な文化やことばに精通した方々の協力を得て、県民の方々に出会いと交流の場を提供し、世界には多様なことばや文化があることを実感してもらった。さらに、在住外国人が同じ地域に住む住民であるという意識を持ってもらうことを目的に、本グローバルセミナーを開催した。

### ◇ 第1回 「わかやま移民の勉強会 第4回」

(1) 日 時 令和3年6月13日（日） 9：30～11：00

(2) 開催方法 Zoom によるオンライン開催

(3) 内 容 「戦後移民の父 松原安太郎に学ぶ」をテーマに勉強会を開催した後、和歌山県中南米交流協会の植樹活動についての紹介。ブレイクアウトルーム機能を使用し、和歌山大学の学生とブラジル県人会の学生たち、それ以外の参加者は県人会谷口会長をはじめとする県人会の皆様との交流を楽しんだ。

(4) 参加費 無料

(5) 参加者 31名（ブラジル県人会11名含む）



### ◇ 第2回 「大洋州の立体パネルと写真展&トーク」 詳細は P.6 に記載





◇ 第3回 インターナショナル・カフェ 「ニューヨークのクリスマス」

県民の方々にくつろいだ雰囲気の中で、県内在住の様々な国の方々と出会い、多様な言葉でコミュニケーションできる場として「インターナショナル・カフェ」を開催してきた。

今年度も新型コロナウイルスの感染状況により、Zoom によるオンラインでの開催となった。本イベントでは、ニューヨーク在住のアメリカ人と日本人の講師ご夫妻と Zoom でつなげて、現地からクリスマスの雰囲気を伝えてもらいながら、参加者の皆さんに楽しんでもらった。

また、県内 NPO 団体と協働開催し、児童養護施設からもオンライン参加していただいた。

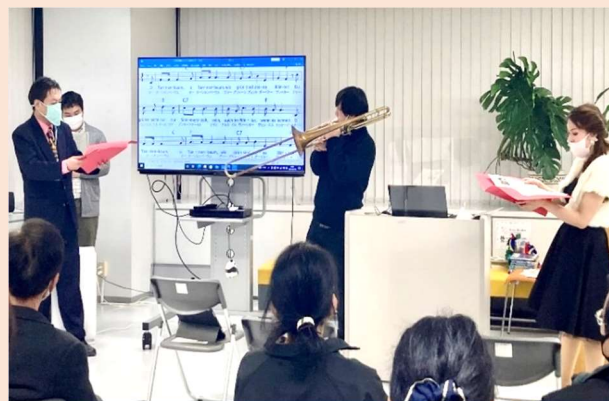
- (1) 日 時 令和3年12月12日（日） 10:00～12:00  
           ニューヨーク時間 12月11日（土）20:00～22:00
- (2) 開催方法 Zoom によるオンライン開催
- (3) スピーカー 北山 好紀、北山 レネイ
- (4) 参加者数 74名
- (5) 参加費 無料
- (6) 内 容 写真や動画でクリスマスにまつわる話などの紹介、中継でニューヨーク現地のクリスマスの雰囲気を伝えてもらいながら、参加者にクリスマスに関するクイズや英語の歌に挑戦してもらった。

◇ 第4回 「ドイツの Xmas 音楽会」

- (1) 日 時 令和3年12月18日（土） 16:15～17:45
- (2) 場 所 国際交流センター 交流ラウンジ
- (3) 共 催 ドイツ語文化交流協会
- (4) 内 容 ドイツのクリスマス、各国の聖歌、本場で作られた聖歌を、写真や動画で紹介した。後半はプロの声楽家、トロンボーン奏者によるミニコンサートを開催した。
- (5) 参加費 無料
- (6) 参加者数 25名



「ニューヨークのクリスマス」



「ドイツの Xmas 音楽会」

◇ 第5回 「中国からカナダへ～私の移住体験談」（南加和歌山県人会子弟受入事業代替プログラム）

- (1) 日 時 令和4年1月15日（土） 13:30～15:30
- (2) 場 所 Zoomによるオンライン開催
- (3) スピーカー シャーリー チャン（和歌山市役所国際交流課 CIR）
- (4) 参加者 18名
- (5) 内 容 中国からカナダへ移住した経緯や、カナダの移民体制やサポートに関する情報、多文化共生に関するお話を伺うとともに、参加者で交流を楽しんだ。

- (1) 日 時 令和4年1月29日（土） 13:30～15:00
- (2) 開催方法 Zoomによるオンライン開催
- (3) スピーカー 益田 充（日本赤十字社和歌山医療センター 外科医・救急医・精神科医）
- (4) 参加者 18名
- (5) 参加費 無料
- (6) 内 容 医師としてみる人権の基本「生きること」と「(心身ともに)健康に生きること」から、海外の難民キャンプなどでの人道支援活動の経験を通して「誰も取り残さない」という視点で、人権について皆さんと一緒に考える機会をつくった。

◇ 第7回 「ブラジル日系3世～日本で働いてみた」（中南米和歌山県人会子弟受入事業代替プログラム）

- (1) 日 時 令和4年3月6日（日） 9:30～11:00（日本時間）  
3月5日（土） 21:30～23:00（ブラジル時間）

- (2) 開催方法 Zoomによるオンライン開催

- (3) スピーカー 山西 ブルーノ カオル  
ブラジル・サンタカタリーナ州出身。

2019年ブラジル和歌山県人会の推薦を得て、和歌山県「在外県人会子弟就労機会創出」プログラムにて来和し、島精機製作所に勤務。

- (4) 参加者 32名

- (5) 参加費 無料

- (6) 内 容 日系3世としてブラジルでの生活、アメリカなどでの留学経験、そして日本で働いて感じたことの紹介。ブラジルからは県人会の谷口会長をはじめ、県人会の方々にも参加してもらった。

グローバルセミナー  
ブラジル日系3世  
～日本で働いてみた～

令和4年3月6日（日）  
9:30～11:00  
(ブラジル時間 3月5日土曜日 21:30～23:00)

スピーカー：山西 ブルーノ カオル さん  
ブラジル・サンタカタリーナ州出身  
大学卒業後、英語教師として勤務。  
2019年に和歌山県「在外県人会子弟就労機会創出」プログラムにて来和し、現在島精機製作所に勤務。

内 容：日系3世としてブラジルでの生活、日本で働いて感じたこと  
参加者との交流など

開催方法：Zoomによるオンライン開催

参加費用：無料（要申込、先着20組）  
※カメラをONにご参加できる方

申込方法：・QRコードから ⇒ ⇒ ⇒  
または  
・お名前、電話番号、参加人数を明記し、  
メールで nakao@wisos.or.jp までお申込ください。

主催：和歌山県国際交流センター、(公財)和歌山県国際交流協会  
～お問合せ～  
〒640-8319 和歌山市手平2-1-2 ヒッポキャンパス 和歌山県国際交流センター  
TEL:073-435-5240 FAX:073-435-5243 担当：中尾

## ○センター共催事業

## ◇ 外国語ランチ事業 「英会話カフェ」

英会話力の向上や異文化理解の機会を求める県民の方々の要望に応えるため、気軽に英会話を楽しむ機会を提供し、参加者が交流を通して自発的な語学学習活動や国際交流活動に取り組んでもらうことを目指した。

- (1) 日 時 第1ターム 令和3年4月13日～8月3日 6回  
 第2ターム 令和3年9月14日～11月30日 11回  
 第3ターム 令和4年1月11日～3月22日 6回  
 13:00～14:10 全23回

(新型コロナ感染拡大により、第1と第3タームは回数を減らして実施した。)

- (2) 場 所 国際交流センター 交流ラウンジ、サークル室

- (3) 内 容 2名の英会話講師による初級英会話クラスを実施した。参加者に講座内だけではなく、自宅での学習にも積極的に取り組んでもらえるよう講座の内容を考え、受講者の実力向上を図った。また、コロナ禍の中、ソーシャルディスタンス、消毒、換気などに気を配り、レッスンや交流会では小グループに分け、各部屋10名以下で実施した。運営では各クラスごとにボランティアスタッフを決めて、参加者自らによるクラス運営への積極的な参加を実現した。

- (4) 講 師 佐藤 真理、Alexandre Hashimoto

- (5) 受 講 者 第1ターム15名、第2ターム16名、第3ターム18名

## ◇ やさしいドイツ語文化理解講座

県内に在住又は勤務する方を対象に、ドイツの言葉や文化を理解してもらうために、国際交流センターボランティアの自主企画運営により実施した。

- (1) 日 時 令和3年4月3日（土）～令和4年3月26日（土）  
 16:50～18:20 全28回

(新型コロナ感染拡大により回数を減らして開催した。)

- (2) 場 所 国際交流センター サークル室

- (3) 内 容 アットホームな雰囲気の中、教科書やプリントに基づいた平易で使用頻度が高い日常生活に関わる表現を学びながら、語学学習にとどまらず食文化や芸術、社会について、ドイツ語圏文化と日本文化をテーマに取り上げ、異文化理解をすすめた。

- (4) 対 象 者 ドイツ語やドイツ文化に興味のある県民

- (5) 講 師 田島 昭洋（大阪市立大学ドイツ語講師）、ドイツ語が母語の話者

- (6) 受 講 者 15名

- (7) 企 画 者 外国文化紹介ボランティア 田島 昭洋

◇ 日本語クラス

県内に在住する外国の方を対象に、日本語や日本文化を学んでもらうために、国際交流センターボランティアと共催等で日本語クラスを実施した。

「もっと日本語クラス」

- (1) 日 時 令和3年6月27日（日）～令和4年1月9日（日）  
10：30～12：00 全12回
- (※4月～5月、8月～9月、2月～3月は新型コロナウイルス感染症のため休講)
- (2) 場 所 国際交流センター サークル室、交流ラウンジ等
- (3) 内 容 中級レベルの日本語文法や会話表現
- (4) 講 師 和歌山にほんごの会 NAGOMI
- (5) 受講者数 延べ人数 約317名

「日本語 おはようクラス」

- (1) 日 時 令和3年6月25日（金）～令和3年12月17日（金）  
10：30～12：00 全18回
- (※4月～5月、9月、1月～3月は新型コロナウイルス感染症のため休講)
- (2) 場 所 国際交流センター サークル室、小会議室等
- (3) 内 容 入門・初級レベルの表現から中級レベルの文法まで
- (4) 講 師 にほんごHYTの会
- (5) 受講者数 延べ人数 約107名

「わがっこ」（和歌山から外国につながるこどもたち）

- (1) 日 時 令和3年6月26日（土）～令和3年12月18日（土）  
13：00～16：00 全18回
- (※5月、1月～3月は新型コロナウイルス感染症のため休講)
- (2) 場 所 国際交流センター サークル室、小会議室等
- (3) 内 容 こどもの日本語教育および学習サポート
- (4) 講 師 八巻 由実子
- (5) 受講者数 延べ人数 約48名

「いっしょににほんご」

- (1) 日 時 令和3年4月4日（日）～令和4年1月23日（日）  
13：00～16：00 全14回
- (※5月、9月、2月～3月は新型コロナウイルス感染症のため休講)
- (2) 場 所 国際交流センター サークル室、小会議室等
- (3) 内 容 入門～中級、少人数レッスン
- (4) 講 師 中野 豊子
- (5) 受講者数 延べ人数 約53名

企業連携型日本語教室の開催

- (1) 日 時 令和3年4月16日（土）～令和4年3月27日 全47回
- (2) 実施方法 スカイプによるオンライン開催
- (3) 講 師 和歌山にほんごの会 NAGOMI 青木 優子、根来 祐子、西島 直子、藤原 知子
- (4) 受講者数 延べ人数 約90名（ベトナム人技能実習生）

◇ 日本語学習支援団体等とのオンライン情報交換の実施

県内で活動する地域日本語支援団体・個人等の活動状況を把握し、情報共有するとともに各団体を相互につなげる。また、日本語学習者へ充実した情報提供を行うとともに、災害時等の緊急事態の際、外国人安否確認をはじめ必要な情報をより迅速に届けるための関係性を継続し、ネットワークの強化を目的に各団体等とオンライン等での情報交換を実施した。

- (1) 実施期間 令和4年3月17日（木）～3月31日（木）※各団体との調整日時に実施
- (2) 実施方法 電話や Zoom による情報交換
- (3) 出席団体 にほんご HYT の会、和歌山にほんごの会 NAGOMI、和歌山市国際交流課、田辺市教育委員会生涯学習課、きのくに学びの教室（和歌山県教育庁人権教育推進課）、多文化オアシス☆にほんごおしゃべり会、みんなで日本語教室（海南・有田）、にほんで日本語、わがっこ、いっしょににほんご
- (4) 内 容 今年度の日本語学習支援活動状況等のヒアリング及び情報共有を行った。

◇ 日本語ボランティア研修会

With コロナ時代においても日本語学習が必要な外国人の学びを支援するため、オンライン学習支援方法や、ウェブサイトを使った効果的な支援方法などの研修を行った。

- (1) 日 時 令和4年3月5日（土） 13：30～15：30
- (2) 場 所 Zoom によるオンライン開催
- (3) 講 師 NPO 法人青少年自立援助センターYSC Global School  
日本語教育コーディネーター 田代 奈緒子
- (4) 内 容 オンラインでの学習支援方法、またオンラインでの学習支援について困難と感ずることなどを事前にアンケート調査し講師にアドバイスをもらった。また効果的なウェブサイトでの学習支援方法等について学んだ。
- (5) 参加者 21名



## c. 国際交流等に関する情報の収集・発信に関する業務

### ○ 情報収集提供事業

資料閲覧室においては、外国人向けの図書を多数所蔵し、当センター独自の強みとして①母語で日本語を学べる教材や母語で読むことができる小説の充実や、②世界の多様な文化を描いた絵本の充実等を強化し、他の図書館との差別化を図った。また、異文化理解や国際理解等に関係する多彩な図書を取り揃え、分類ごとにわかりやすく配置した。定期的に内容を入れ替えたメインの飾り棚は、来館者がすぐに手にとってもらいやすい場所に配置した。さらに情報の古くなった図書類の選定を数回に渡って行い、蔵書の整理を行った。

センターホームページでは、外国人の生活関連情報など多くの情報を発信した。また引き続きフェイスブックを活用し、イベント等のお知らせや実施後の写真等を掲載した。

情報収集提供ボランティアがデザインした看板を館内に配置した。

#### ◇ 蔵書数 7,667冊

- (1) 蔵書構成：日本語・外国語図書（外国語小説、日本の小説や漫画の外国語版、日本語学習、外国語学習参考書、和歌山県の紹介、外国文化や海外観光地の紹介、外国語辞書など）
- (2) 整備及び管理方法：日本十進法等により分類

#### ◇ 刊行物

- (1) 広 報 誌 名 和歌山県国際交流センターNEWS (Vol.51~Vol.54)
- (2) 発行時期・部数 8月 (Vol.51)、12月 (Vol.52)、2月 (Vol..53)、3月 (Vol..54)  
各2,000部
- (3) 内 容 センターイベント紹介、活動紹介
- (4) 配 布 先 賛助会員、自治体、地域国際化協会、各市町村、教育委員会、公共施設、教育機関など



英語、中国語、フィリピン語、ベトナム語、日本語の5カ国語で情報提供

◇ 県民及び在住外国人からの寄贈

県民や在住外国人から図書の寄贈を受け、リサイクル図書として活用した。

また、民間団体（和歌山東ロータリークラブ）から、121冊の新規図書の寄贈を受け、それらも含め活用した。（※詳細は、令和3年度和歌山県国際交流協会(自主事業)事業報告書 P.8 参照）

寄贈図書数 227冊 廃棄図書数 96冊

◇ 図書貸出サービス登録者数 894名（うち日本人494名／在住外国人367名）

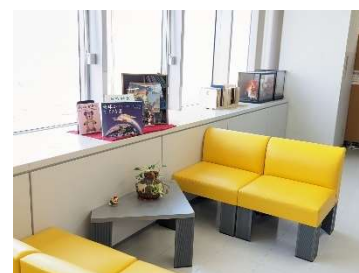
- ・貸出条件対象者 小学生以上であって県内在住の方、または県内に通勤、通学している方
- ・貸出期間 3週間
- ・貸出冊数 10冊まで
- ・貸出利用者 223件
- ・総貸出冊数 459冊



ボランティアデザインによる新看板



世界の多様な文化を描いた絵本



くつろぐことのできる館内



貴重なベトナム語図書



言語別に並べた多言語絵本棚

◇ ホームページ等

ホームページについては、セキュリティ面を最大限に配慮しつつ、情報発信が迅速に行える CMS により、スピーディな更新を行った。言語はこれまでの4言語にベトナム語を追加し（日本語・英語・中国語・フィリピン語、ベトナム語）の5言語に対応しており、外国人生活情報が項目ごとに確認できる「外国人生活関連情報」のサイトや、和歌山県日本語学習支援情報サイト「わかやまにほんごのまど」に団体等の情報を掲載した。

- ・協会ホームページ閲覧者数 2,650件（令和3年4月～令和4年3月31日）
- ・センターホームページ閲覧者数 20,138件（令和3年4月～令和4年3月31日）
- 合計 22,788件

## d. 在住外国人等に対する支援業務

## ○ 相談窓口の運営

外国人のための相談窓口を設置し、在住外国人が生活する上で抱える様々な相談に、外国人生活相談員等が英語、中国語、フィリピン語、ベトナム語、日本語で対応した。

相談件数：936件

内 容：以下のとおり

当事者国籍・地域別件数

フィリピン	442
中華人民共和国	153
日本	134
ベトナム	110
インド	22
アメリカ合衆国	15
台湾	13
タイ	6
オーストラリア	6
カナダ	5
ジャマイカ	5
インドネシア	3
ネパール	3
パキスタン	3
コスタリカ、オランダ、モンゴル	各2
フランス、スリランカ、ロシア カンボジア、ブラジル、バーレーン、セネガル、イラン	各1
不明	2

内容別相談件数

出入国関係	149
情報	157
教育	69
医療・社会福祉	79
労働・就職	100
婚姻・国籍	69
通訳・翻訳	108
税金	11
住まい	18
観光	4
留学	8
その他	164

対応内容別件数

情報提供	401
相談対応	389
通訳・翻訳	108
専門窓口の紹介	20
人材紹介	11
専門窓口への通訳	1
その他	6

## ○ 外国人のための「専門家による一日相談会」

在住外国人支援の一環として、通常的生活相談の枠を超えた専門的な相談に多言語で対応するため、田辺市において「専門家による一日相談会」の開催を企画した。

- (1) 日 時 令和4年2月20日（日） 13:00～17:00
- (2) 場 所 田辺市民総合センター2階 交流ホール
- (3) 共 催 田辺市、田辺市教育委員会、田辺市国際交流センター
- (4) 相談内容 法律、在留資格・帰化、労働・社会保険・年金、教育、女性、国などの行政、  
市政・生活一般
- (5) 対応言語 英語、中国語、フィリピン語、ベトナム語、日本語  
(\*新型コロナ感染拡大によるまん延防止措置法の発令のため、中止となった。)

## ○ 外国人のための巡回無料法律相談

在住外国人支援の一環として、法テラス和歌山と連携し、無料法律相談を企画し、実施した。相談内容は民事、家事、行政事件（\*刑事事件は対象外）、日本に居住する収入・資産が一定基準以下の外国人を対象に、英語、中国語、フィリピン語、ベトナム語、日本語で対応した。

- (1) 日 時 令和3年5月20日(木)、7月15日(木)、9月16日(木)、11月18日(木)  
令和4年1月20日(木)、3月17日(木) 13:00～16:00
- (2) 場 所 和歌山県国際交流センター サークル室
- (3) 相談実施件数 5件（上記相談日に各3件の相談枠を用意、年間18件枠中）
- (4) 共 催 法テラス和歌山

## ○ コミュニケーション支援事業

在住外国人へ日本語学習を支援するボランティアのサポートを行い、共催で日本語クラスを実施した。さらに研修会などを通して、ボランティアの支援力及び技術力を強化し、日本語教育の関係者や関係団体との連携を深めた。

詳細は P.11、P.12 参照

## e. 在住外国人等に対する防災対策及び危機管理支援業務

### ○ 在住外国人等支援防災対策事業

「災害時における外国人支援ネットワーク近畿ブロック研究会」

近畿圏内において発生する大規模災害に対し、相互に協力し、外国人に対する災害応急対策及び災害予防対策の支援を円滑に推し進める体制づくりを行うことを目的に、災害時多言語支援センターの設置、運営訓練を実施するとともに、他協会が実施する研修会に参加した。

#### ◇ 「災害時における外国人支援ネットワーク近畿ブロック研究会」による協議

- (1) 日 時 令和3年6月24日（木）～令和4年3月10日（木） 全4回
- (2) 開催方法 Zoomによるオンライン開催など
- (3) 内 容 年間事業計画・収支予算、総会、副会長研修、共催研修、災害時の緊急連絡体制・情報共有の方法、その他情報交換
- (4) 参加団体 近畿地域国際化協会連絡協議会会員（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、京都市、大阪市、神戸市）、奈良県（準構成員）、堺市（オブザーバー）

#### ◇ 近畿地域国際化協会連絡協議会 総会

- (1) 日 時 令和3年8月6日（金）
- (2) 開催方法 Zoomによるオンライン開催
- (3) 内 容 令和2年度事業報告・収支決算報告及び監査報告、令和3年度事業計画（案）及び予算（案）、令和3年度一般会計繰越金の緊急災害支援特別会計への積み増やしについてなど
- (4) 主 催 近畿地域国際化協会連絡協議会

#### ◇ 「区と連携した災害時外国人支援・災害多言語支援センター運営研修」

- (1) 日 時 令和3年12月18日（土）13:00～16:10（遠隔通訳支援に参加）
- (2) 開催方法 Zoomによるオンライン開催
- (3) 内 容 近畿ブロック会長協会から各協会への翻訳依頼の流れ、災害時各協会所属の通訳・翻訳ボランティアへの依頼、近畿ブロック内での円滑な連携・後方支援の検証など
- (4) 主 催 公益財団法人大阪国際交流センター、大阪市阿倍野区役所
- (5) 共 催 近畿地域国際化協会連絡協議会



◇災害時多言語支援センターの設置・運営訓練

- (1) 日 時 令和3年12月23日（木）10:30～16:00
- (2) 場 所 和歌山県ビッグ愛、大ホール・和歌山県国際交流センター・白浜町
- (3) 内 容 講演：テーマ①「在留外国人支援のためのやさしい日本語」  
 ②「情報トリアージ及び翻訳用日本語原稿作成方法」  
 訓練：「避難所巡回の心得」  
 講師：土井 佳彦（クレア災害時外国人支援アドバイザー）  
 松本 義弘（クレア災害時外国人支援アドバイザー）  
 参加者：和歌山市33名、白浜町17名、オンライン参加9名 合計 59名
- (4) 主 催 公益財団法人和歌山県国際交流協会
- (5) 共 催 近畿地域国際化協会連絡協議会

◇外国人のための防災講座「Let's Study BOSAI」

地震や津波、台風などの災害発生に備え、在住外国人等が自らの防災に関する知識と意識を高め、災害時に適切な行動を取れるようにすることを目的に、地震等災害についての基礎知識を学び、グループで様々なミッションに挑戦する実践型イベント。本年度は令和4年2月27日（日）の実施に向け準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染拡大により、共催者であるNHK和歌山放送局と協議のうえ中止とした。

また、本年度は防災講座実施に向け、関係する機関及び団体が参加する「Let's study BOSAIのためのやさしい日本語研修会」を実施した。

- (1) 日 時 休日版 基礎編 令和3年12月11日（土）  
 応用編 18日（土）  
 平日版 基礎編 令和3年12月20日（月）  
 応用編 27日（月）  
 いずれも時間は13時～14時30分
- (2) 講 師 青木 優子（和歌山にほんごの会 NAGOMI 代表）
- (3) 場 所 国際交流センター サークル室
- (4) 参加者数 のべ25名
- (5) 参加機関及び団体

NHK 和歌山放送局、日本防災士会和歌山支部、和歌山地方気象台、  
 和歌山県国際交流センター

(6) 内 容

**基礎編**：やさしい日本語についての基礎知識の習得

- ・日本語クラス学習者情報（国、年齢層、在留資格別日本語習得の現状やレベルについて）
- ・初級日本語クラス受講者の学習する日本語の具体的な内容について
- ・防災に必要なことばをやさしい日本語に置き換え練習

**応用編**：防災講座で各組織・団体が行っている実際のプレゼンテーションや実技内容を、やさしい日本語で考え直し、発表練習

## f. 海外移住者及び海外県人会に対する支援及び交流事業の実施業務

### ○ 海外移住者子弟受入事業

海外に移住した県人の子弟を県内の一般家庭に受け入れ、ホームステイを通じてお互いの国の文化や風俗を理解し、移住先国と自らのルーツである和歌山、日本との相互理解を深めた。

#### ◇ 南加和歌山県人会子弟受入事業 【新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止】

- (1) 受入期間 令和3年7月初旬～中旬
- (2) 人数 2名
- (3) 内容 ホームステイ、県知事・県議会表敬訪問、理事長主催昼食会、グローバルセミナーのゲストスピーカー、茶道体験、日米協会主催昼食会
- (4) 協力団体 和歌山日米協会、和歌山大学研究グローバル化推進機構他

※世界各国で渡航や入国制限の措置がとられていたことから、4月19日に本事業の中止を決定した。

#### 代替事業

グローバルセミナー事業「中国からカナダへ～私の移住体験談」を実施した。

詳細はP.9参照

#### ◇ 中南米和歌山県人会子弟受入事業 【新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止】

- (1) 受入期間 令和4年1月下旬～2月中旬
- (2) 人数 在ブラジル和歌山県人会 1名  
在パラグアイ和歌山県人会 1名
- (3) 内容 ホームステイ、県知事・県議会表敬訪問、理事長主催昼食会、高校生や大学生との交流、親戚との交流、グローバルセミナー、日本文化体験など
- (4) 協力団体 わかやま南北アメリカ協会、中南米交流協会、和歌山大学研究グローバル化推進機構

※世界各国で渡航や入国制限の措置がとられていたことから、8月に本事業の中止を決定し、ブラジル県人会及びパラグアイ県人会にお知らせした。

#### 代替事業

グローバルセミナー事業 「ブラジル日系3世～日本で働いてみた」を実施した。

詳細はP.9参照

## g. 指定管理者自主事業

### ○ 人権セミナー（グローバルセミナー）（再掲）

「誰も取り残さない 世界の人権～難民支援活動の現場から」

- (1) 日 時 令和4年1月29日（土） 13:30～15:00
- (2) 開催方法 Zoomによるオンライン開催
- (3) 講 師 益田 充（日本赤十字社和歌山医療センター 外科医・救急医・精神科医）
- (4) 参加者 18名
- (5) 参加費 無料
- (6) 内 容 医師としてみる人権の基本「生きること」と「(心身ともに)健康に生きること」から、海外の難民キャンプでの人道支援活動の経験を通して「誰も取り残さない」という視点で、人権について皆さんと一緒に考える機会をつくった。

[文中：敬称略]